

静岡県駿東郡小山町のアルミ缶リサイクルプラントの処理能力を増強

MA アルミニウム株式会社（本社：静岡県裾野市、社長：丸山茂樹）は、静岡県駿東郡小山町にあるアルミ缶リサイクルプラントに約 5 億円を投資し、使用済み飲料用アルミ缶（Used Beverage Can：以下 UBC）の処理能力を約 15%増強いたします。

当社の属するアルテミラグループは、アルミ圧延・箔・押出・缶の専門メーカーからなる総合アルミニウムグループです。圧延・製缶事業においては、UBC を再生し、新たなアルミ缶を製造する水平リサイクル事業を推進、UBC の回収（アルテミラ・テクノソリューションズ株式会社）、前処理、溶解、鋳造、圧延によるアルミ缶用板材の製造（当社）、アルミ缶の製造（アルテミラ製缶株式会社）まで、アルテミラグループ内で一貫して処理を行ない、アルミ缶製品の約 4 割^{*1}にこのリサイクルプラントで再生したアルミ材を活用しています。 *1：原材料比

UBC から再生アルミ材を作りだすエネルギーは、ボーキサイトから新しくアルミ材を造る場合に比べ、エネルギー消費を 97%削減^{*2} できます。再生アルミ材の活用はサーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルの観点で持続可能な社会の構築に貢献できる取り組みです。 *2：アルミ缶リサイクル協会 HP より

今回、当社のアルミ缶リサイクルプラントにおいて主に UBC の解砕機と焙焼炉を更新します。解砕機は輸送効率を高めるために圧縮された UBC の塊を砕き、裁断片にする設備です。処理能力の向上に加え、これまでは別工程での処理が必要だった高い圧力で圧縮された塊もそのまま投入できるようになります（2026 年 2 月に更新予定）。また、焙焼炉はアルミ缶に印刷された塗料などを熱分解する処理設備で、処理能力の向上を図りました（2025 年 1 月に更新済）。今回の増強投資により、アルミ缶リサイクルプラントにおける再生アルミ材の生産能力が約 15%向上し、年間約 5 万トンになる予定です。

UBC のリサイクル工程から、缶材コイルの製造、アルミ缶の製造までのプロセスに関しては YouTube チャンネル「プロセス X」に公開されています（2023 年 10 月公開、約 21 分）。こちらもぜひご覧ください。

[YouTube チャンネル「プロセス X」でアルテミラグループの CAN to CAN リサイクル工程の動画が公開されました | MA アルミニウム株式会社](#)



左) 解碎機に投入される UBC 右) 解碎機 (更新前)



左) 焙焼炉 (更新済) 右) 溶解炉



再生アルミ材 (スラブ : アルミ板の元となるアルミ鋳塊)

MA アルミニウムという社名には「お取引先、従業員、地域のみなさまなど全てのステークホルダーにとって、Most Attractive、もっとも魅力的なメーカーでありたい」という思いを込めております。当社は「アルミニウムの魅力で幸せなミライを創る」を使命 (ミッション) に掲げ、有効資源の活用と高付加価値品の供給を通じて、社会に貢献してまいります。

【本件問い合わせ先】

MA アルミニウム株式会社 総務人事部 (055-992-1211)